

平成26年
(NO-3)

里 山

龍ヶ崎・里山の会
27. 4. 10.

26年度・主な活動報告

26年度活動は、下記の事項を行ってきました。

1. 雑木林の保全作業（毎月定例）
毎月1回のペースで保全活動を行なう。
2. カブトムシ里親募集（春・冬）
カブトムシの保育とピオトープ。
3. 高校生と雑木林の保全（春・夏・秋）
高校生、大学生と雑木林の保全を行う。
4. 環境教育
地域住民、若者への生物多様性の大切さ。



龍二高校生による・森林の保全作業

カブトムシの里親募集・幼虫配布のイベント開催

龍ヶ崎の広報誌「りゅほう」にて「カブトムシの里親募集」を行いました。

当日5月10日、さわやかな新緑の中、4歳から小学校3年生のお子様の家族が25名参加されました。

プログラムは、カブトムシのクイズ、産卵床の観察、幼虫探しです。1家族3匹ずつ配布できました。

飼育は、黒土と幼虫、餌として腐葉土、その上に落ち葉をたくさん盛ります。

皆さん、大事そうにして飼育ケースを持って帰られました。（講師：松本、金久、指導：吉原、榊原）



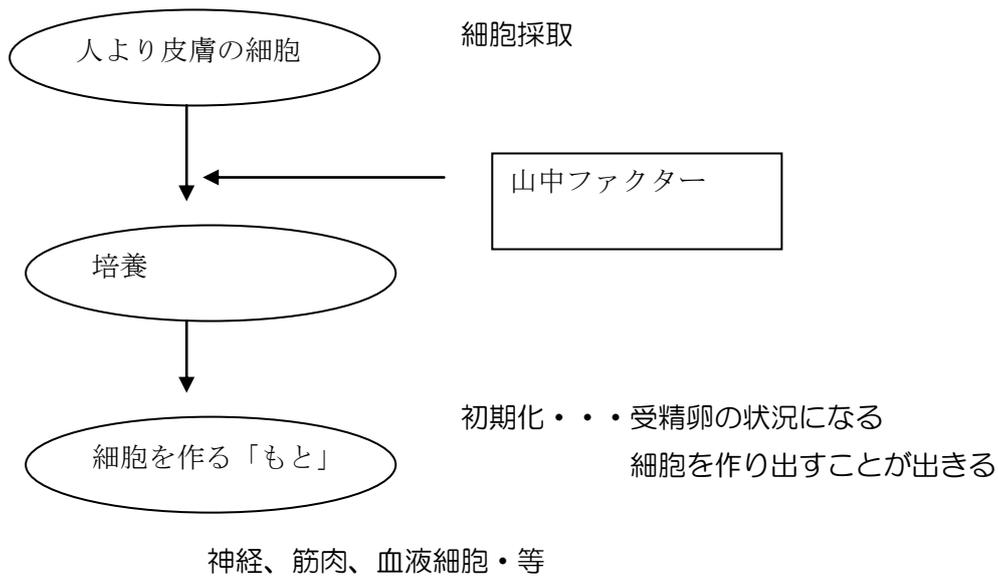
生態科学（仮称）

これからは、注目させる科学です。今までは、自動車、船舶、電気製品・・・等の工学技術がほとんどでした。春に咲く「サクラの皮」は、咳の薬になり、夏の「やなぎのき木」は、解熱作用の薬になります。多くの植物等により我々の生活が支えられております。

今回はその中のいくつか注目したいと思います。

■ i p s 細胞（夢の細胞）

ご存知のように、京大の山中教授の研究により誕生しました。細胞の一部から、いろいろな細胞を作り出すことが将来可能となります。たとえば、皮膚細胞の一部から神経、筋肉、腸・・・等の細胞が作れます。



■ 希少糖（キシリトール）

キシリトールは、ガムで皆さんよく知っていると思います。夢の砂糖で、砂糖のように甘く、メタボ防止、虫歯の予防になります。課題があります。

なかなか手に入りやすく、量産ができません。

香川大学 何森教授が 40 年の研究により量産が可能となりました。



■ 植物から鉄より硬い材料（京都大、三菱化学にて研究：植物の力をかりて資源革命）

京大の矢野教授の研究により発明されました。

植物から、鉄より強く、軽い材料が作られ、鉄 1 に対して 5 倍の強度を持ちます。

自動車を始め、航空機、船舶、家電製品等に使用できます。

植物のセルロースを使用することにより可能となり、植物のセルロースを集め、圧縮して材料を作成するという方法です（植物は何でも、草、樹木、・等可能）。

以上